

日本あちこち河川遡行記(第237回)

京都 1-2. 桂川(その3)平成30年3月28日(水)快晴

青春18切符5枚を使い切ったので新たに買い遡行に出かける。格安切符が利用できる期間は出来るだけこれを利用するようにしている。桂川の続きの遡行でJR桂川駅に向かう。今日も踏切の安全確認と称する訳の分から無い理由でダイヤが乱れている。連日何処かでこれを理由とするダイヤの乱れが多発している。安全という錦の御旗であるが、新幹線の台車破事故のような重大な安全を無視した事故の方がはるかに問題である。

新快速から普通に乗換えるため今日も高槻駅で電車を待っていると、通過線を京都行きの「くろしお」が通過して行く。先端部がなんとパンダの顔になっている。パンダを見るのなら上野よりも白浜の方が多おまっせ！



01.パンダ顔の特急が高槻駅を通過

10時半に桂川に着き駅西側のバス乗り場に向かうとヤサカ観光のバスが路線バスとして座を占めている。関西では貸切バス会社として有名なヤサカが路線バスを持っていたとはビックリだ。京都市西京区北部のニュータウン完成と合わせて開業したようだ。滋賀での帝産バスといいビックリさせられる。

10時50分、市営バス乗り場から阪急桂駅東口行き市バスに乗車。桂川から桂行きとは紛らわしいナー。3つ目の「牛ヶ瀬」バス停で下車する。少しでも歩く距離を短くするためのバス利用である。



02.ヤサカ観光が路線バスを持っている



03.牛ヶ瀬バス停で下車

前回見た橋の次の橋となる新幹線の桂川橋梁に向かう。東海道新幹線は耐震補強が終わり、ラーメン橋脚の巻厚補強のみならず筋違を入れ山陽とは異なった姿をしている。



04.東海道新幹線の耐震補強は嚴重だ

土手に上がると橋は新幹線の R550m のカーブ区間にあり、ゆったりと円弧を描いている。時間当たり片側 12 本の列車がひっきりなしに通過して行く。在来線の通勤ラッシュ時並みの頻度である。時速 280km の高速鉄道を 5 分間隔で走行させているのに世界は驚いている。

土手には春の使者である土筆が顔を出している。急激な温度上昇であつと言う間に顔を出したので地元の人が取の間が無く多くが残っている。



05.桂川]橋梁をひっきりなしに通過する

06.春の使者が顔を出している

直ぐ上流側には在来線の5線の桂川橋梁が川と直角に渡河している。下流側から昭和3年完成の下り線複線橋、次に明治44年完成の上り線複線橋、そして単線の貨物線が並んでいる。明治の橋が未だ現役で残っているのだ。12径間のトラス橋は絶景だ。丁度金沢からのサンダーバードが通過して行く。



07.在来線をサンダーバードが通過

前回までは川の東側の左岸側を歩いて来たがサガンがお好きという訳では無いので今回は右岸を歩くことにした。連日のぼかぼか陽気で気温は毎日うなぎ上りに上がっていく。今日の京都の最高気温は25.5も有ったと後で知った。

土手の上の県道123号を北北西に進路を取り進む。やがて桂川最初の大規模な堰が現れ、土手沿いには三川合流点から13kmの標識柱も有る。土手の反対側にはこの川を管理する淀川河川事務所の出張所が構えている。敷地内の桜が満開である。(写真-08.)、



08.桂川最初の大規模な堰がこれだ



09.桂川出張所の敷地には満開の桜が

府道 142 号の「桂橋」は地形図では「桂大橋」と書かれ、橋の東詰に有るバス停名と交差点名は「桂大橋」となっているが、道路地図と西詰の交差点と橋の親柱では「桂橋」となっている。どっちがほんまなんや！



10.「桂橋」の袂には常夜灯が有った

交差点を越えると道の西側に笹の生垣と竹林が北に延びている。有名な「桂離宮」だ。見学は完全予約制で一度は見たいものだ。対岸側は京都市の中心に近いので河川敷にはスポーツ施設が並んでいるが、こちらは洛外の扱いで何もないぞな。東の彼方には西京極のスポーツ施設が並んでいる。高校駅伝ラストの競技場、かつての阪急ブレーブスの準本拠地の野球場などが密集している。

阪急京都線は踏切で越えることが可能で助かる。屋根端の白色が際立つ特急が通過していく。京阪の賑やかさと新快速の無機質な姿とは全く異なる姿である。



11.生垣の向こうは「桂離宮」だ



12.川向うは京都のスポーツの殿堂、西京極だ



13.次は阪急京都線の特急が通過

北よりの流れが西に変わる曲がり角付近では左岸側になりこちらの方が高水敷が大きく広がる。広い原は畑だらけで品が無い。土手路からこの畑の中に入る。国道9号の「西大橋」は広い高水敷部は盛土でごまかし道路面も他の橋よりも低い。この盛土が洪水の引き金にならないければ良いのだが。



14.だだっ広い河川敷は畑が一杯だ

左に大きく回り込み自転車道を進み府道132号の「上野橋」を見て針路を西

に変える。対岸には満開の桜が青空に映えた桜色を見せつけてくれる。青空と桜色の対比が桜の魅力を高めている。彼方には春霞に霞む京の北西の護り山の愛宕山が聳えている。



15.土手の桜の向こうには春霞に霞む愛宕山

河川敷が狭まり道は土手に上がる。道際の工事現場に今まで見たことの無い安全柵を見つけカシャ。良く見ると大きなヘルメットを被った女性が頭を下げた姿である。少し離れたところには男性作業員が数名休憩中であった。男が頭を下げるよりはこっちの方がエエナだ。

土手を進むと南側の土手下に墓地が現れ、墓石ならぬ古い墓木が並んだ見慣れない墓地である。土饅頭に墓木を立てた感じである。



16.新しいタイプの安全柵を見つける

川面がこちらに寄り対岸側に河川敷が広がると川は大きく西から北に方向を変える。苔寺（西芳寺）や鈴虫寺（華厳寺）の方から流れてくる「西芳寺川」の橋を越え道は再び北に向かう。

17.小さな木の墓標の墓が土手下に



18.川は大きく 90 度方向を変える

左側からは阪急嵐山線の電車の音が聞こえてくる。やがて府道 186 号の「松尾橋」に着く。ここは四条通りの西の端で、東の端には祇園さんが有る。橋桁は補修工事中でシートに覆われ、合わせて橋脚の耐震補強工事も行われている。西に目を転じると酒の神様「松尾大社」の巨大な鳥居が建っている。



19.府道 186 号松尾橋は耐震補強と桁の補修工事中

待ってました！河川敷は公園になっており大勢の家族連れがシートを広げて寛いでいる。対岸側には河川敷が無くなり、今度はこちらが洛中の扱いとなる。14時を過ぎ夏のような暑さで半袖にして歩く。木陰が有り難い。自転車に乗ったカップルの背中に何か載っている。良く見るとそれぞれの背中のリュックにワンちゃんが載っている。ハスキーと芝犬がこちらをじっと見つめている。「見つかったかー」。



20.最高気温 25.5 度の今日は木陰が気持ちいい



21.ワンちゃん楽ちん楽ちんやなー

河川敷きの自転車道が土手に上がり少し行くと嵐山の終点（起点）に到着する。木津川と桂川の自転車道を完全制覇したぞ。

嵐山地区に来ると観光客でごったがえしている。大勢のユー達も交じり、レンタル着物を着た女性も青空の元、インスタ映えする場所を探して右往左往している。欧米の人は直ぐにユーと分かるが中国、韓国は見ただけではウイーと一緒になので言葉でユーと分かる。それにしてもユーが多いなー。奈良も多かったが京都はけた違いに多い。好きな枝垂れ桜も満開でユー達も嬉しそうに写真を撮っている。春の桜と晩秋の紅葉が良いだろう。



22.自転車道の終点から起点まで歩いて制覇したぞ



23.河畔の枝垂れ桜はエエナー

最後の橋の「渡月橋」は大勢の人で押すな押すなの混雑で渡るのは大変だ。

川はここから亀岡まで名前を改め「保津川」となる。狭く長い溪谷が連なり旧山陰線の線路だけが川沿いに走り、道路は無い。武庫川の宝塚~三田間に良く似た地形だが歩いての通過は無理なのでここで一応終わりとする。橋を渡り終わると橋の歴史を解説した掲示板が立っている。



24.「渡月橋」を渡るのは大変だ 25.千年以上の歴史有る渡月橋の解説板

橋から北に向かう道は人だらけで食べ物屋、土産物屋が並び混雑に拍車をかけている。嵐電の立派な駅も天龍寺の入口も人だらけでおわします。



26.嵐電の嵐山駅前もユー達がイッパイ 27.「天龍寺」も人が多いぞす

JRの駅に向かう途中に素敵な郵便局があったのでカシャ。屋根が非対称になっているのがゲー。この嵐山西方の山からぐるりと東に取り囲む山の裾野には歴代天皇の御陵が数多く有る。後亀山天皇陵から時計廻りに嵯峨天皇、御宇多天皇、村上天皇、円融天皇、光孝天皇、宇多天皇、後三条天皇、後冷泉天皇、後朱雀天皇・・・と続いている。陵は東よりも西方が適地なのだろう。



28.郵便局の屋根がいいねー

嵯峨嵐山駅前に来るとここまで多くのリキシャに擦れ違ってきたが、ここがそのスタート地点のようで丁度カップルが乗車中である。今日は書き入れ時でお気張りヤス。

新しい橋上駅舎の左側には旧線を利用したトロッコ列車の嵯峨駅も立派な姿をしている。儲かってまんない。昔非電化の時代に通過したころは嵯峨駅だったはずだが駅名が変わっている。若い女性の駅員に尋ねると、「さあ一分かりません」。駅の歴史ぐらい教育しておきなはれ！嵯峨だけでは全国区では無いので嵐山をくっ付けたナー。



29.リキシャのカキイレ時だ



30.JR 嵯峨嵐山駅の左にはトロッコ嵯峨駅が

京都行き電車の4人席の前にスペイン系のカップルが座り、人前でいちゃついてくれる。郷に居れば郷に従え！アミーゴよ。4時間の長い帰路につく。足の状態は大丈夫のようだ。

本日の歩行距離：10.3km。調査した橋の数：8。

総歩行距離：9,865.8km。総調査橋数：11,899。

使用した1/25,000地形図：「京都西南部」（京都及大阪7号-1）、「京都西北部」（京都及大阪6号-2）